

研究室 からの メッセージ

159

上段左から、柴山、関、星野
下段左から、黒田、櫻田、
田上、澤登

Data(2018年4月現在)

所在地：〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

スタッフ：櫻田淳(教授)、田上豊(教授)、澤登智子(准教授)、関美雪(准教授)、柴山志穂美(准教授)、星野純子(准教授)、黒田真由美(助教)

URL <https://www.spu.ac.jp/>



埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、看護学科、理学療法学科、作業療法学科、社会福祉子ども学科、健康開発学科の5学科で構成される保健医療福祉学部と、大学院保健医療福祉学研究科を擁する公立大学です。

1999(平成11)年に開学し、2009(平成21)年から大学院を設置しています。本学の前身には1943(昭和18)年に設立された埼玉県保健婦養成所があり、埼玉県における保健師養成の歴史は75年以上になります。

本看護学科の地域看護学領域では、公衆衛生看護学および在宅看護学等を担っています。

Education

どのような教育をしていますか？

公衆衛生看護系の講義は1年生から始まり、2年生では、「社会保障概論」「衛生学・公衆衛生学」「保健福祉統計」「疫学」「公衆衛生看護展開論Ⅰ・Ⅱ」を学びます。3年生では、「公衆衛生看護展開論Ⅲ・Ⅳ」「保健医療福祉行政論」「地区診断論」、4年生では、「公衆衛生看護技術」「公衆衛生看護学実習」「公衆衛生看護管理論」を学びます。

保健師課程は、2014(平成26)年度から3年生前

期末に履修者選考を行っています。各学年40名程度の学生が保健師課程を履修しています。

Research

どのような研究をしていますか？

担当教員が取り組んでいる研究テーマとしては、「公衆衛生看護と学校保健に関する研究」「地域包括ケアシステムにおける保健師の役割」「小児精神保健における保健師の役割」「行政保健師の人材育成」「公衆衛生看護学実習の在り方」「女性のメンタルヘルスと自己効力感に関する研究」「子どもの発育・発達に関する研究」「乳幼児健康診査と子育て支援に関する研究」などが挙げられます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学では、保健医療福祉に関する教育・研究の成果とその専門性を生かした「産学連携」や「地域貢献」への取り組みを進めています。

本領域においても、卒業生をはじめとした保健師を対象に、キャリアアップのための専門職講座を開催するなど人材育成への取り組みを行っています。

また、埼玉県や関係団体、市町村からの依頼を受けて各種委員会に参画するなどして、地域の保健医療福祉政策の推進に寄与しています。

ひとこと

少子高齢社会の急速な進展により、地域の健康課題も変化していくことが想定されます。このため、新たな課題に対応した保健師育成や保健医療介護システムの構築が必要とされてくるものと思われます。本領域がこれまで培ってきた専門的知見や大学の研究手法等により、地域の課題解決等に貢献できればと思います。

……田上

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp